

／ 疑わしい症状を見つけたらお近くの農業改良普及センターへ ／

収穫期
貯蔵期

サツマイモ基腐病の発生に注意しましょう

写真 1 茎葉の枯死

発見のポイント

サツマイモ基腐病は、茎葉が繁茂する生育期には株の異常に気が付きにくく、収穫期が近づき茎葉の生育が衰える秋頃になって一気に枯れあがり気付くことがあります。

病徴が進行すると茎の黒変が進み、地上部が枯死するとともに、塊根（イモ）側へも黒変が進み、塊根に到達して「なり首」から腐敗します。収穫したイモに疑わしい症状が見られたら、お近くの農業改良普及センターへご連絡ください。



写真 2 地下部の茎、諸梗、塊根に病徴（暗褐色）

防除対策

収穫前

- **コンテナの洗浄**
作物の残渣や土をほ場に持ち込まないようにコンテナは水でよく洗浄して土を完全に落とす。
- **農機具や長靴の洗浄**
他のほ場で作業する前には農機具や長靴についた土は良く落とし、水でよく洗浄する。



収穫時

● 記録と管理

収穫したイモがどのほ場で生産されたか追跡できるように生産ほ場を記録し、ほ場ごとに管理する。

● イモの選別

なりつるの黒変、イモのなり首側からの変色や腐敗、イモからの萌芽等の有無に注意して収穫する。

貯蔵中

- 基腐病罹病イモは、貯蔵中に罹病部位が拡大する。また、罹病部位に接する周囲の健全イモにも基腐病が伝染する。
- 貯蔵中のイモは、月に 1 回程度異常がないか確認する。



罹病したイモ（★）を中心にコンテナ詰めをしている様子



貯蔵後の罹病イモ（★）と発病した周囲のイモ（○）

写真出典、参考文献：生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業（01020C）および戦略的スマート農業技術等の開発・改良（SA2-102N）令和 4 年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」より
参考文献：茨城県農業技術課「サツマイモ基腐病の防除対策（収穫期～貯蔵期）」より

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用してください。
- 宮農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。